



(茨城県近代美術館提供)



小川 芋銭 おがわ うせん

慶応4年(1868) - 昭和13年(1938)

カッパを描いた個性派画家
牛久市



「水魅戯」(茨城県近代美術館蔵)

明治から昭和初期に活躍した画家。本名は茂吉。江戸に生まれたが、一家が農業で生計を立てるために牛久沼のほとりに居を移す。農村風景を愛し、カッパの絵を多く描いたことから「カッパの芋銭」と親しまれ、素朴でユーモアのある作品や、幻想にあふれる多くの作品を残す。その生涯は旅を愛し、「仙境の画人」「俗中の仙人」などともいわれている。大正6年(1917)、横山大観に認められ、日本美術院の同人となる。芋銭は、日本画家と称されているが、俳人でもあり、俳画や書にも立派な作品を残し、今日も数多くの熱烈な愛好家がいる。

△ 主な内容 △

- ▼ 令和元年度定時総会を開催
- ▼ 各功労者への表彰式挙行
- ▼ 現場見学・現場実習を行います

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

若者が夢持てる魅力的な産業へ

令和元年度 定時総会を開催



石津会長



本会は5月23日、令和元年度の定時総会を水戸市の県建設技術研修センターで開催し、事業計画などを決定しました。若者が夢を持って将来を託せる魅力的な産業となるよう、積極的に各種事業活動を展開していきます。週休2日制の導入については、昨年度に一斉休工を試行したことから、完全週休2日の達成に向けて毎月1回、土曜日を一斉休工日とする取り組みを行い、解決すべき課題を整理して関係機関に提言・要望を行います。

冒頭、石津健光会長は、業界の現状について「4月から働き方改革関連法が施行され、長時間労働是正への対応や特定技能外国人の受け入れ、建設キャリアアップシステムの本格稼働など、大きな変革の波にさらされている」とし、「令和時代の幕開けとなる本年度は、建設業界にとっても新たなスタートの年となる。協会としても、時代の流れに会員が的確に対応していけるよう新たな視点を持ちながら、積極的に事業を展開してまいります。会員各位のご協力を引き続きお願い申し上げます」とあいさつしました。

議事では、平成30年度収支決算を承認したほ

か、30年度事業、令和元年度事業計画および収支予算などを報告。

本年度は公共事業予算の持続的・安定的な確保・拡大や工事施工平準化の要望、経営改善に資する事業、生産性向上に関する取り組みなどを推進します。

また、地域貢献活動、若年入職者の確保・育成、高校生向けの資格取得支援、働き方改革に関する取り組み、女性のさらなる活躍に向けた「女性部(仮称)」の立ち上げ、建設キャリアアップシステムへの対応、労働災害防止対策の推進などを積極的に展開します。

令和元年度表彰式を行いました おめでとうございます

総会前には建設業や本会の発展に功績を残した会員など29人に対する表彰式を挙行。石津会長と鈴木雄二建設業福祉共済団理事が表彰状と記念品を手渡し、栄誉をたたえました。

受賞者を代表して、常陸大宮支部の中島金作氏（㈱中島工務店代表取締役）は「これを契機に決意新たに業務に精励し、業界発展のため微力ながら尽くしてまいります」と謝辞を述べました。

受賞されました皆様、誠にありがとうございます。ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



受賞者（敬称略、順不同）

茨城県建設業協会会長表彰

【第3条（特別功労）】

- ◆飛田 純一（㈲飛田組代表取締役、太田支部）
- ◆井坂 陽介（㈱井坂組代表取締役、太田支部）
- ◆中島 金作（㈱中島工務店代表取締役、常陸大宮支部）
- ◆安 雅人（㈱やすくら工務店代表取締役、常陸大宮支部）
- ◆益子 俊文（㈲益子工務店代表取締役、大子支部）
- ◆樋本 和雄（大北産業㈱代表取締役、高萩支部）
- ◆魚田 孝（㈱魚田土建代表取締役、高萩支部）
- ◆斉藤 幸男（㈱斉藤建設工業代表取締役、鉾田支部）
- ◆石津 義曠（㈱飛田工務店取締役、潮来支部）
- ◆菅谷 明良（㈱大地代表取締役、潮来支部）
- ◆佐藤 悟（常磐建設㈱代表取締役、竜ヶ崎支部）
- ◆大和田久進（東亜興業㈱代表取締役、土浦支部）
- ◆岡野 雅男（正栄工業㈱代表取締役、常総支部）
- ◆野口 仁一（野口機設工業㈱代表取締役、常総支部）
- ◆野口 恵夫（㈱野口組代表取締役、境支部）

【第5条（会員の従業員）】

- ◆清宮 勝（菅原建設㈱、水戸支部）
- ◆新井 和彦（株木建設㈱茨城本店、水戸支部）
- ◆櫛田 茂（西野工業㈱、常陸大宮支部）
- ◆大串 良吉（日立土木㈱、高萩支部）
- ◆森 茂喜（ヤシマ建設㈱、土浦支部）
- ◆川松 博（㈱進貢、土浦支部）
- ◆岩瀬喜一郎（石塚産業㈱、常総支部）
- ◆小菅 英一（㈱染谷工務店、常総支部）
- ◆橋本 行雄（小沢道路㈱、境支部）
- ◆瀬戸 康正（中和建設㈱、境支部）

全国建設業協会会長表彰

【第2条第3号】

- ◆岡野 雅男（正栄工業㈱代表取締役、常総支部）

【第2条第4号】

- ◆中島 金作（㈱中島工務店代表取締役、常陸大宮支部）

- ◆益子 俊文（㈲益子工務店代表取締役、大子支部）
- ◆樋本 和雄（大北産業㈱代表取締役、高萩支部）
- ◆石津 義曠（㈱飛田工務店取締役、潮来支部）
- ◆野口 仁一（野口機設工業㈱代表取締役、常総支部）

【第4条第1号】

- ◆（㈲飛田組（太田支部）
- ◆（㈱井坂組（太田支部）
- ◆（㈱やすくら工務店（常陸大宮支部）
- ◆（㈱斉藤建設工業（鉾田支部）
- ◆（株大地（潮来支部）
- ◆常磐建設㈱（竜ヶ崎支部）
- ◆東亜興業㈱（土浦支部）
- ◆（株野口組（境支部）

【第4条第4号】

- ◆（株魚田土建（高萩支部）

【第5条（会員の従業員）】

- ◆清宮 勝（菅原建設㈱、水戸支部）
- ◆新井 和彦（株木建設㈱茨城本店、水戸支部）
- ◆櫛田 茂（西野工業㈱、常陸大宮支部）
- ◆大串 良吉（日立土木㈱、高萩支部）
- ◆森 茂喜（ヤシマ建設㈱、土浦支部）
- ◆川松 博（㈱進貢、土浦支部）
- ◆岩瀬喜一郎（石塚産業㈱、常総支部）
- ◆小菅 英一（㈱染谷工務店、常総支部）
- ◆橋本 行雄（小沢道路㈱、境支部）
- ◆瀬戸 康正（中和建設㈱、境支部）

建設業福祉共済団理事長表彰

- ◆中島 金作（県建設業協会理事）
- ◆木村 保幸（県建設業協会理事）
- ◆伊東 久夫（県建設業協会理事）
- ◆菊地 和幸（県建設業協会理事）
- ◆古田 部武（県建設業協会経理係長）

各支部が定時総会

令和元年度事業計画を決定

本会各支部の定時総会が4月下旬から順次開催され、本年度の事業計画などを決定。各支部長が抱負を披露しました。

水戸支部



尾曾 正人 支部長

「働き方改革法の施行により長時間労働の改善や週休2日制など労働環境の改善に向けて対応が求められている。業界の魅力を向上し担い手不足を解消するため、時代の変化に対応して現場の環境を整えていく必要がある」

事業計画 元年度 経営者研究会、経営講習会、雇用管理研修会、現場代理人技術研修会、優良工事現場視察研修会、清掃作業・美化活動、献血会、みと支部だよりの発行 など

土浦支部



佐々木 勇 支部長

「良質な社会資本を提供し、安全・安心な地域づくりを推進するとともに、地域の経済と雇用を支え地域発展に貢献していく。ダンピング対策の徹底、不良不適格業者の排除、適正な工期設定のもと適正な利潤を確保し、担い手育成と確保に努めていただきたい」

事業計画 元年度 健全性・透明性・公正性等を堅持した業界倫理の確立、建設工事の適正な施工体制の確保、建設業の健全な発展向上を図るための人材確保及び育成 など

大宮支部



高野 潔 支部長

「深刻な人手不足への対応としてICT施工の推進や働き方改革への取り組みを進めていかなければならない。会員各社の皆さまには支部や協会の勉強会に積極的に出席いただき、各社がベストとなる解決策を探してほしい」

事業計画 元年度 雇用体制の改善、公共事業の入札・契約制度への対応、関係法令の遵守徹底、建設業労働災害防止と環境対策の徹底、イメージアップ活動の推進 など

筑西支部



柴 勝 支部長

「県発注工事の事業量は伸びているが、地域格差はまだ大きい。格差の是正を働きかけていきたい。令和という新しい時代の幕開けとなり、皆さまには経営基盤の強化を図り、地域社会に貢献し、労働災害の防止に努めていただきたい」

事業計画 元年度 安全パトロール、ICT活用研修会など各種講習会、献血活動、「道の日」美化清掃活動 など

大子支部



大藤 博文 支部長

「人手不足、就業者の高齢化が進み、厳しい環境下であり、若手人材の確保・育成、働き方改革やICT導入への対応が急務。会社の持続的維持のためには事業量を確保していかなければならない。会員相互の信頼関係のもと一致団結していきたい」

事業計画 元年度 安全衛生活動の推進、災害時における支援活動、災害訓練の実施、冬季時における道路管理の徹底、各種講習会の実施、地域へのボランティア活動 など

境支部



新井 孝 支部長

「週休2日制や生産性向上など働き方改革への対応が若手入職者の確保と育成には重要。本年度は令和という新しい時代の幕開けであり、支部員一丸となって努力してまいる」

事業計画 元年度 建設産業のイメージアップ並びに地域貢献活動の積極的な推進、企業の健全な経営とITの活用、防災かつ減災への取り組み並びに迅速的確な応急復旧への体制づくり など

齋藤実理事が黄綬褒章を受章

本会の理事を務める齋藤実氏（株齊藤建設代表取締役）が、建設業業務精励として、黄綬褒章を受章されました。誠にありがとうございます。ますますのご活躍を祈念いたします。



齋藤氏は昭和27年（1952年）1月7

日生まれ。土浦市在住。東海大学工学部土木工学科卒業後、株木建設(株)を経て51年に(株)齊藤建設

に入社。各種工事に携わり経験を重ねるとともに、経営面でも研鑽し、平成5年に代表取締役役に就任。

本会では、20年から30年まで常任理事として活躍。土浦支部では20年から副支部長に就いています。28年からは土浦商工会議所の常議員も務めており、地域に多大な貢献を果たしています。

27年には国土交通大臣表彰（建設事業関係功労）を受賞しました。

齋藤氏の話

「今回の受章は、関係者の皆さまのお力添えのおかげであり、感謝申し上げます。これからも微力ながら業界の発展と地域貢献に尽力してまいります」

本年度も現場見学・実習を行います

建設業のイメージアップへ

建設現場見学会と建設現場実習に向けて、本会、県、学校の3者による打ち合わせ会が5月20日、水戸市の県建設技術研修センターで開かれました。建設業のイメージアップや若年者の入職促進を図るため、現場見学会の候補箇所や現



本年度の現場見学・現場実習について話し合いました

場実習の日程などについて話し合いました。

議題では、各校から本年度の現場見学会と現場実習の希望日を聞いたほか、水産試験場内水面支場研究等新築工事など県市併せて35カ所の見学候補箇所と、現場実習の受入企業延べ68社が示されました。今後は調整を重ねながら、各校ごとに現場見学や現場実習が順次行われます。

現場見学会は平成3年から、現場実習は7年から実施しています。30年度の見学会は茨城大学を含め10校から501人の学生が参加し、延べ13カ所の建設現場を見学。現場実習は9校から170人の学生が参加し、協会の会員事業所延べ63社の協力により行われました。

関東地整が入札・契約説明会

本年度の実施方針学ぶ

本会は5月21日、国土交通省関東地方整備局における入札・契約、総合評価の実施方針などに関する説明会を水戸市の県建設技術研修センターで開催しました。経営者や技術者など約120人が集まり、同局担当者の説明に耳を傾けました。

説明会では、まず企画部技術調査課の洲永美秋課長補佐が入札・契約、総合評価の実施方針について説明。落札率や低入札、不調・不落の発生状況、落札者と非落札者の加点状況などの分析結果を解説しました。また、総合評価について、技術提案において新技術活用を高評価するよう見直したこと、女性技術者の登用を促すモデル工事に若手技術者を追加したことなどを説明しました。

休憩後には、営繕部技術・評価課の安齋茂課



長補佐が「営繕工事における各種取り組みについて」、企画部施工企画課の金澤哲也課長補佐が「i-Constructionの取り組みについて（ICT施工）」と題してそれぞれ解説。

そのほか、企画部技術管理課の加藤貞夫建設専門官が、円滑な施工確保に向けた各種取り組みについて話しました。

企業活動へ各種支援

茨城県建設業協同組合が総代会



県建設業協同組合（石津健光理事長）は5月24日、令和元年度通常総代会を水戸市の県建設技術研修センターで開催し、第49期の事業計画などを決定しました。本年度も生命共済・第三者賠償保証事業、経営の安定と健全な発展促進を図るための「建設業振興基金（工事代金立替金制度）」および「地域建設業経営強化融資制度事業」を引き続き実施します。

労災防止対策を推進

建災防茨城県支部が総会



建設業労働災害防止協会（建災防）茨城県支部（石津健光支部長）の令和元年度定時総会が5月24日、水戸市の県建設技術研修センターで開かれ、事業計画などを原案どおり承認。

本年度も労働災害を防止するため、安全衛生教育、安全パトロール、労働災害防止大会など、労働災害防止に資する活動を積極的に推進していく計画です。

太田支部
活動報告

ICT見学会で 最新建機試乗



太田支部（瀬谷實支部長）は5月17日、日立建機㈱の工場とデモサイトの見学会を実施。支部会員約30人が参加し、午前中は同社土浦工場 ICT 建機の製造過程を見学しました。午後からはひたちなか ICT デモサイトへ移動し、座学で同社の ICT 建機の特長を受講するとともに、最新型の ICT 油圧ショベルに試乗しました。

常陸大宮支部
活動報告

働き方改革へ 実務対応学ぶ



常陸大宮支部（高野潔支部長）の経営企画委員会は5月20日、経営者と労務担当者を対象とした研修会を開催しました。講師に社会保険労務士法人人事サポートの山崎和男所長を招き、約30人が年次有給休暇の付与や時間外労働の上限規制など、建設業における働き方改革関連法について学びました。

大子支部
活動報告

長時間労働是正 週休2日を実現



大子支部（大藤博文支部長）では、5月21日に働き方改革に関する勉強会を大子合同庁舎で開催しました。講師は社会保険労務士の野口清氏。野口氏は週休2日制実現への具体的な提案として一年単位の変形労働時間制の活用や振替休日制度の運用などを提示。出席した約40人の支部会員は真剣な表情で受講し、理解を深めました。

竜ヶ崎支部
活動報告

労働災害の防止 過去事例で対策



竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は5月30日、県竜ヶ崎工事事務所（野上邦男所長）とともに安全講習会を行いました。龍ヶ崎労働基準監督署の飯塚則裕安全衛生課長が「建設業における労働災害防止対策」と題して講演するなど、労働災害の現況や建設業の災害傾向、災害や熱中症への対策などについて理解を深めました。

新会長に大曽根理一郎氏

建設未来協議会が定時総会



本会の建設未来協議会（小林圭一会長）による第27回定時総会が5月10日、ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸で開かれ、前年度の事業報告や収支決算報告、本年度の事業計画や

収支予算など全5議案を原案どおり可決。役員改選では大曽根理一郎氏（写真）が会長に選任されました。

大曽根新会長は「令和という新時代を迎え、その言葉の持つ意味の通り素晴らしい時代にできるかどうかはわれわれ次第。建設業の明るい未来のため、働き方改革や技術革新などの課題に一丸となって取り組んでまいりたい」と抱負を述べました。

会員の動向

〈代表者変更〉

- ▽ 常総支部
倉田建材(有) 倉田 豊二 → 倉田 進一
- ▽ 水戸支部
(有)東海組 小高 規行 → 小高 廣子

〈住所等変更〉

- ▽ 水戸支部
(株)大貫工務店（水戸本店開業）
住 所 東茨城郡大洗町磯浜町 2410
→ 水戸市けやき台 3-62-1
電話番号 029-267-2001 → 029-239-3883

〈社名変更〉

- ▽ 筑西支部
新井建材(有) → (株)アロウズ

県内企業の受注確保を 県土木部が国出先機関へ要請

茨城県土木部の伊藤高部長（写真左）など幹部職員は5月14日、国土交通省常陸河川国道事務所を訪れ、八尋裕所長（写真右）へ「茨城県内建設業者等の受注機会の確保等に関する要望書」を手渡し、国の直轄工事における県内建設業者の受注機会の確保や県内建設資機材の活用などについて、特段の配慮を求めました。

八尋所長は「地元建設業者は事業を行う上で欠くことのできない大切な存在」とし、県内業者のさらなる受注機会の確保に向け「地域防災担い手確保型や自治体実績評価型など、さまざまな方法を活用していく」と応じました。



ちよつと一言



水道を捻ると、きれいな水が出てくる。安心して飲める反面、どうしてもペットボトルの水を飲んでしまう。世界に目を向けると、毎日1000人も5歳以下の子どもが、汚染された水が原因で命を落としている。

先日、テレビで水不足に直面するネパールのカトマンズのことに取り上げられていた。素人考えかもしれないが、エベレスト級の山々を控え、雪解け水が豊富であると思う。原因は、人口集中にある。中国国境にある川からの導水計画があるものの、何十年に渡り頓挫している。

人間の身体は、60%は水である。そのため、毎日1リットルからの水を飲んでいる。日本人は、日々水のありがたみを考えてもらいたい。（N）